



作り手が輝く場所をつくる

西口 輝彦 さん(米 湊)

未来を描く作り手たちの  
元気と笑顔を集めれば  
きっとみんなに連鎖する

「いいじゃないですか、そろそろ。田舎も前に出ましようよ。」

普段は珈琲屋を営む西口輝彦さん。伊予市をもっと元気で楽しいまちにしようと、友人たちと共に活動を始めました。

昨年1月、手作りのあたたかさを感じられる作り手を集めて、小さなイベントを開きました。

「初めてのイベントのときに、来てくれたおばあちゃんが、『こういうの楽しいよね。毎日したらいいのに。明日もあればわくわくする。』と言ってくれたんです。」

確かな手応えとともに、昨年5月、おさい公園の芝生広場を貸し切り、作り手と心をつなぐマーケット『TeToTe』第1回を開催しました。

『TeToTe』では、布や紙、土、金属など、さまざまな分野の作り手が出店しました。こだわりの形にしたアート作品を展示販売したほか、カラフルな泥だんごを作ったり、スプーンを作ったり、親子で参加できる体験型やワークショップ、実演を重視しました。

「遊びがテーマなんです。大人が遊ぶば子どもも遊びます。」

家族連れや若者、お年寄りまで、約2000人が来場しました。

「埋もれている、世にもっと知ってほしい作り手がたくさんいます。単なる物売りではなく、作り手が心をこめた作品を、皆さんに見てもらいたいですね。」

西口さんは、作り手とお客さん、人と人の橋渡し役。伊予市を元気にしたいという思いから、出店料は場所代などの実費分で、ボランティアの方々も助けてもらいながら運営しています。

「未来を描いた作品で元気をくれる作り手にも、お返しをしたいんです。子どもやお客さんの笑顔、作り手の前向きな作品は、光です。」

何かを始めるとき、初めの一步は不安になるものです。その一步を照らす光があれば、一步二歩と踏み出して、もっと大きな光を作ることができるんじゃないでしょうか。その光＝笑顔が、みんなに連鎖していく。笑顔の集まる場所づくりをすることで、そんなお手伝いができたらと思います。」

人と人をつなぐ場所、『TeToTe』第2回は、5月29日、おさい公園の芝生広場で開催されます。